

[B部会 発表要旨]

I C T活用および校務D Xに関する研修の取組について

岐阜県総合教育センター

課長補佐 役 正好

I はじめに

これからは、A I（人工知能）をはじめとする技術革新が一層進展し、社会や生活を大きく変える超スマート社会(Society5.0)の到来が予測されている。第4次岐阜県教育振興基本計画（2024～2028年度）で取り組む施策の一つとして、「未来を創る基礎となり、社会で活きる学力の育成」を掲げ、I C Tを効果的に活用できるよう指導・支援の充実を図ることや、児童生徒が情報活用能力を身に付けることを目指している。本部会では、こうした背景を踏まえた研修の取組について報告する。

II 研修の取組について

1 整備状況に応じたI C T活用及び校務D Xに関する研修

県及び市町村における1人1台端末の整備状況に応じて、O Sや授業支援ツールごとの演習を通じ、I C T活用及び校務D Xの方法を実践的に習得することを図っている。

昨年度の受講者の声を分析した結果、基礎的なスキルは概ね習得された一方で、更なる活用を望む声も多く、I C Tスキルに個人差があることが明らかとなった。このことを踏まえ、7月までは「基礎基本」の習得を重視した講座を設け、9月以降は「活用」に重点をおいた講座を展開している。

ア 放課後学べる！ミニI C T講座（基礎基本・オンライン形式・全11回）

イ I C T活用実践講座（応用活用・集合対面形式・全11回）

ウ 校務D X（デジタルトランスフォーメーション）推進講座（集合対面形式）

2 有識者を招いた講話や演習を含む研修

技術革新の進展や情報教育に関する今日的な課題に対応するため、外部有識者を講師に招き、集合対面形式による講話や演習を通じた研修講座を展開している。

ア 生成A Iの教育における活用講座[基礎編][応用編](岐阜市立女子短期大学専任講師)

イ デジタルシティズンシップ教育のすすめ(岐阜聖徳学園大学教授)

ウ 学習者用デジタル教科書活用講座(放送大学客員教授)

エ クラウドを活用した個別最適な学びと協働的な学び(春日井市教育委員会教育研究所教育D X推進専門官)

オ I C Tで実現する教育データの活用(聖徳学園中学・高等学校校長補佐)

III まとめ

I C Tは、それ自体が「目的」ではなく、教育の本質に照らして活用されるべき「手段」である。今後も研修内容や方法の改善に努め、より充実した研修の実施を目指していく。